

JR北海道×モンベル 地域活性化に関する包括協定を締結

北海道旅客鉄道株式会社(本社：北海道札幌市中央区、代表取締役社長：島田 修、以下「JR北海道」と)、株式会社モンベル(本社：大阪府大阪市西区、代表取締役会長：辰野 勇、以下「モンベル」)は、相互の連携を強化し、道内各地の地域活性化に資するための、「地域活性化についての連携と協力に関する包括協定」を締結しました。

以下の7項目に関してJR北海道とモンベルが一つになり、道内各地の皆さまと共に、環境への影響に配慮した「サステナブルツーリズム」の実現による地域活性化に取り組んでまいります。

なお、JR北海道が包括連携協定を締結すること、アウトドア事業者と連携することは、初めての事例となります。

1. 包括連携協定の概要

JR北海道とモンベルは、以下に関する事項について、相互に情報・意見交換を実施し、具体的な事業について協働で取り組んでまいります。

- ① 自然体験の促進による環境保全意識の醸成に関すること
- ② 子供たちの生き抜いていく力の育成に関すること
- ③ 自然体験の促進による健康増進に関すること
- ④ 防災意識と災害対応力の向上に関すること
- ⑤ 地域の魅力発信とエコツーリズムの促進による地域経済の活性化に関すること
- ⑥ 農林水産業の活性化に関すること
- ⑦ 高齢者、障がい者などの自然体験参加の促進に関すること

2. 両社の取り組み

JR北海道とモンベルは、相互の連携を強化し、北海道の地域活性化に資する事業に取り組んでいくほか、環境に優しい鉄道の利用や密になりにくいアウトドア活動の促進等による、環境への影響に配慮した「サステナブルツーリズム」の実現も目指します。

(1) 北海道の地域活性化

- ① モンベルとJRヘルシーウォーキングとの連携による道内各地への送客の拡大
モンベルクラブ会員に対する宣伝告知や、プレゼント協賛による魅力度向上等を通じ、多くのお客様を道内各地に送客します。



- ② 地域の魅力を活用した観光開発・商品化・宣伝告知

モンベルとの間で、包括連携協定の締結や、フレンドタウン・フレンドエリアの指定を受けた自治体を中心に、自然・文化・歴史や特産物の魅力を活用した観光開発や商品化、両社の媒体を活用した紹介や販売等に取り組めます。

(2) 環境への影響に配慮した「サステナブルツーリズム」の実現

トレッキング・サイクリング・カヤックなど人力による移動手段で自然、歴史、文化、人々との交流を楽しむ「ジャパンエコトラック」やSEA TO SUMMIT等を活用し、環境への影響に配慮した「サステナブルツーリズム」の実現により、北海道の地域活性化に取り組みます。

① 「ジャパンエコトラック」オホーツクにおける連携

・ JRヘルシーウォーキングでのコラボ企画

北見市、大空町、網走市、小清水町において、「ジャパンエコトラック」ルートの一部を活用した「いつでもウォーク」を「コラボ企画」として実施します。

JAPAN ECO TRACK ジャパンエコトラック コラボ企画

ジャパンエコトラックとは、トレッキング・サイクリング・カヤックなど人力による移動手段で自然、歴史、文化、人々との交流を楽しむ新しい旅のスタイルを提案している取り組みで、mont-bellが事務局を担っています。
JR北海道もこうした取組に賛同し、ジャパンエコトラックに指定されているオホーツクエリアで、4つのコラボコースを設定しました。

■ 対象ウォーク **いつでもウォーク** 北見駅・浜小清水駅～浜小清水駅、北見駅、女満別駅、網走駅

■ 「選べるプレゼント」でもコラボ！
コラボを記念して、「選べるプレゼント」の期間でも、mont-bell x ヘルシーウォーキングのプレゼントをご用意します。
※詳細は3ページをご覧ください。

■ ジャパンエコトラック <https://www.japanecotrack.net/>

・ 「とっておきオホーツク！ぶらり鉄道旅」サイトの制作

当社サイト「NewRailLife」内に制作し、各駅を出発地とするサイクリングコースやジャパンエコトラックの素材を活用した鉄道利用促進に取り組んでいます。



<https://www.jrhokkaido.co.jp/okhotsk/>

オホーツクエリアはモンベルの指定するフレンドエリアです。
フレンドエリアを中心とした「ジャパンエコトラック」という新しい旅のスタイルをJR北海道は応援します！



写真提供：Connectrip (コネクotリップ)

ジャパンエコトラックとは

アウトドア・アクティビティを通じて地域の自然や文化を楽しむ旅

トレッキング・カヤック・自転車といった人力による移動手段で、日本各地の豊かで多様な自然を体感し、地域の歴史や文化、人々との交流を楽しみながら、旅をする。そんな新しい旅のスタイルが「ジャパンエコトラック」です。

統一されたデザインの公式ルートマップをベースに、ルート情報、協力店の情報、地域の魅力を発信し、受け入れ態勢を整備することで、旅行者の快適な旅をサポートします。

[詳しくはこちら](#)

・ SEA TO SUMMIT オホーツク大会への協力の継続

2019年度から開催しているSEA TO SUMMIT オホーツク大会のコースに組み込む、網走～浜小清水間での臨時列車の運転を継続します。

※ SEA TO SUMMIT

モンベルが各地の自治体と連携し、実施している「環境スポーツイベント」で、自然とふれあい、環境について考え、自分たちをとりまく自然環境を再認識することを目的としています。



② アドベンチャートラベルの活用

2023年に北海道で開催されるATWS（アドベンチャートラベルワールドサミット）開催に向け、「ジャパンエコトラック」を活用しながら連携して取り組みます。